

広げよう 献血の輪!



みなさんの善意による
無償の献血が
貴い命を救います

現在、全国で1年間に約547万人(延べ人数)の方から献血へのご協力をいただき、その血液は輸血を中心とした医療を支えています。人間の生命を維持するために欠くことのできない血液は、まだ人工的に造ることができません。さらに血液は生きた細胞で、長い期間にわたって保存することもできません。輸血に必要な血液をいつでも十分に確

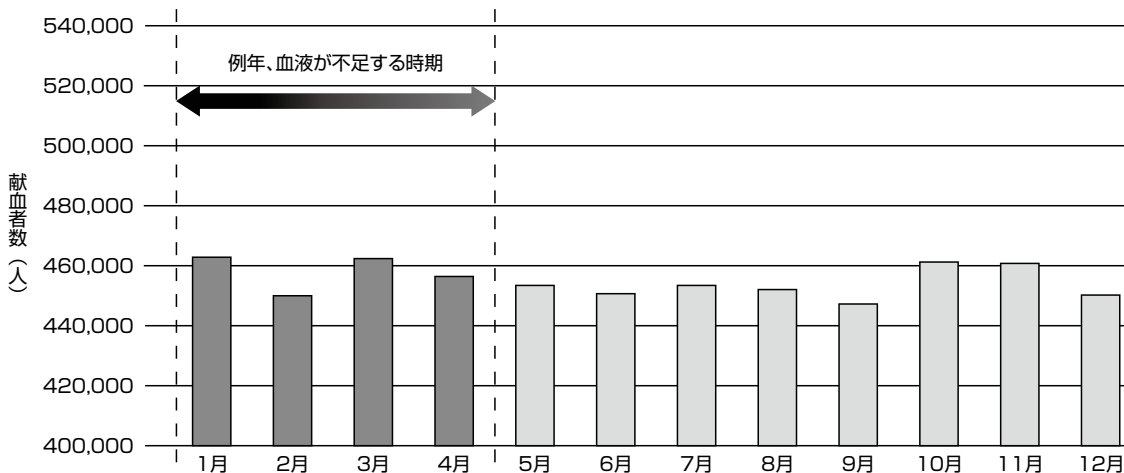
保しておくためには、絶えず誰かの献血が必要となります。また近年、輸血用血液製剤などの安全性に対する要求も高まっています。日本赤十字社は、安全性の高い血液を安定的に医療機関に供給ができるよう努めています。今後とも、より多くの方々に献血の現状をご理解いただき、さらなるご協力をお願いいたします。

献血者減少時期のご協力

血液センターでは、医療機関の血液需要をあらかじめ予測し、これに沿って、献血のご協力をお願いしています。しかし、年間を通して血液の需要はほぼ一定であるのに対し、献血者数には変動があります。全国的に見ると、特に冬場から春先にかけては、風邪など体調を崩す方が多いことや、学校や企業、団体などの協力が得られにくくなることから献血者が減少してしまいます。

ゴールデンウィークやお盆、年末年始などにも一時的に減少しがちです。献血者の減少は、長期保存のできない輸血用血液製剤の不足を引き起こします。このような場合、全国69カ所ある血液センター間の相互協力により、医療機関へ血液が確実に届くようにしておりますが、常に迅速かつ安定的な供給を図るために献血者の減少時期のご協力が一層求められています。

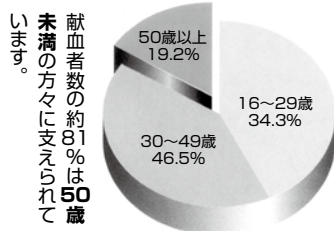
■ 月別献血者数の推移(2004年1月~2004年12月)



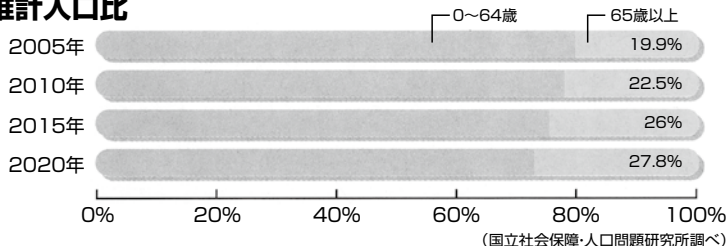
少子高齢化時代への対応

輸血用血液製剤や血漿分画製剤の大半は高齢者の医療に使われています。東京都の年代別輸血状況調査によると、輸血用血液製剤の約85%は50歳以上の方々に使われています。一方、献血にご協力いただいた方々の年齢層を見ると約81%が50歳未満(その内の約34%が16-29歳)と、健康な若い世代が高齢者医療の多くを支えている現状があります。今後、少子高齢化が進むにつれて、現在の献血者比率がこのまま推移していくと、救命医療に重大な支障を来す恐れがあります。本格的な少子高齢社会を迎えるにあたって、より幅広い年代層による献血の協力体制を必要としています。

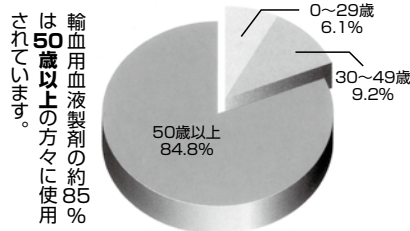
■ 年代別献血状況(2004年 全国)



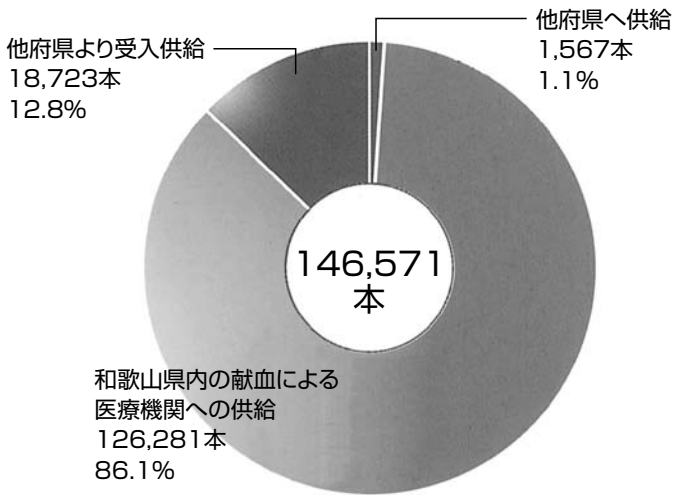
■ 将来推計人口比



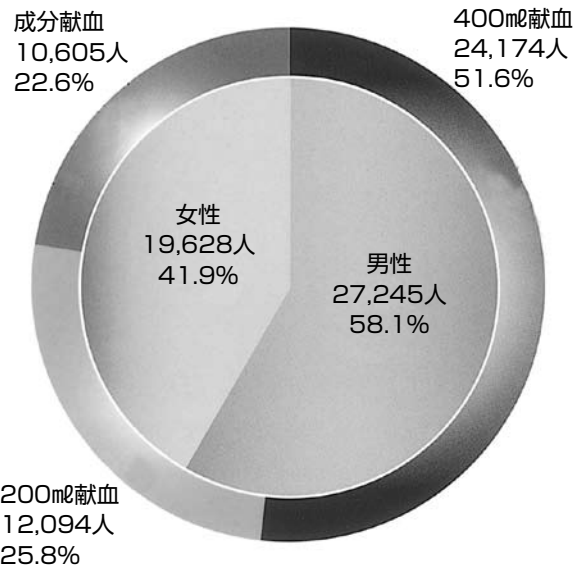
■ 年代別輸血状況(2004年 全国)



■輸血用血液総供給状況(200ml換算)

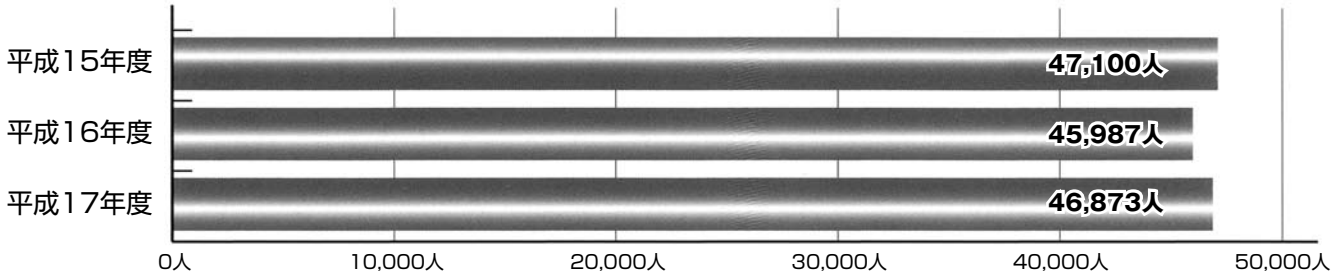


■和歌山県内の献血者数は、46,873人です



和歌山県内の献血による医療機関への供給は、86.1%で、12.8%は他府県より受入供給されています。

■献血者数の推移



みなさまの善意でいただいた血液から医療にはなくてはならない各種の血液製剤をつくります。献血血液から製造される製剤は **献血** を表示しております。

採血国：日本

■輸血用血液製剤の種類(一部抜粋)

赤血球	●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間	出血および赤血球が不足する状態、またはその機能低下による酸素欠乏のある場合に使用されます。
血漿	●保存温度 -20℃以下 ●有効期間 採血後1年間	複数の血液凝固因子の欠乏による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
血小板	●保存温度 20~24℃ ●有効期間 採血後72時間以内 ●要振とう	血小板数の減少またはその機能低下による出血ないし出血傾向のある場合に使用されます。
全血	●保存温度 2~6℃ ●有効期間 採血後21日間	大量出血などすべての成分が不足する状態で、赤血球と血漿の同時補給を要する場合に使用されます。

■^{けっしょう}血漿分画製剤の種類(一部抜粋)

血液凝固因子製剤	血友病の患者さんには血液中の凝固因子が不足しているため、関節出血など多くの出血症状が繰り返しあらわれます。この場合、血液凝固因子を補充する必要があります。血液凝固因子製剤は、血友病の患者さんにとって大変重要な製剤です。 ●保存温度 10℃以下 禁凍結 ●有効期間 2年間
アルブミン製剤	事故などで大けがをして、大量の出血がありショック状態に陥ったときや、熱傷(やけど)、臓臓病、腎臓病などの治療に使われます。 ●保存温度 室温 禁凍結 ●有効期間 2年間
免疫グロブリン製剤	B型肝炎ウイルスと特異的に反応する免疫グロブリン(抗体)を分離精製した製剤です。B型肝炎ウイルスを含む血液による針刺し事故後の発症防止や、B型肝炎撲滅のための母子間感染の予防のために使用されます。 ●保存温度 10℃以下 禁凍結 ●有効期間 2年間